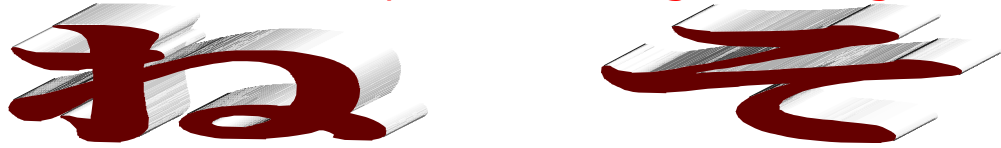


# ※世界遺産登録20周年記念事業スローガン:『われらがつなぐ、合掌文化!!』

守る会ホームページ!! <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>



白川郷荻町集落の自然環境を守る会

発行 平成27年 8月号

## 蚕が結ぶ世界遺産交流～富岡市の蚕を白川郷で飼育～!!

7月1日に、群馬県富岡市世界遺産富岡製糸場より400頭のお蚕さんが白川郷にやってきました。事の始まりは、筑波大教授の黒田乃生先生。黒田先生は世界遺産白川郷をご支援くださる大切な先生のお一人で、荻町公園のデザインや世界遺産15周年記念事業子ども向けプログラム及び教材テキストの作成等にご尽力くださいました。黒田先生は富岡市の世界遺産関係の事業にも関わってみえ、同市で行われる「市民養蚕」に白川郷からも参加ができないかと守る会に打診くださいました。

富岡市には昭和30年代の最盛期に3000軒近い養蚕農家が存在しましたが、現在は12軒。ところが、世界遺産登録となった富岡製糸場への観光客が増加し、繰糸の実演や絹製品に使う富岡産の繭が不足してきたため、市民に蚕を飼育してもらおう事業をスタートしました。

白川郷の合掌造りは、屋根裏を養蚕に活用する目的から進化した建物。しかし、養蚕は昭和40年代には衰退し、世界遺産登録時には産業としての養蚕は皆無の状態でした。現在は野外博物館民家園・和田家等で見学用に夏期のみお蚕さんの飼育を継続してきました。また、6月には村が所有する田島家を管理委託した養蚕展示館(代表:三島敏樹氏)がオープンし養蚕農家の復活を掲げた取り組みも別途スタートしました。

世界遺産登録20周年の白川郷と登録1周年の富岡製糸場。世界遺産である両地区が、お蚕さんを必要とする時流の中、富岡市さんから蚕と飼料を搬入し、白川郷からはできた繭をお返しするという試みが始まりました。「市民養蚕」は、100頭のお蚕さんと飼育容器や人工飼料を無料で貸し出し、できた繭を富岡市にお返しするという事業。初回は守る会・白川小学校・根尾須磨子さん・和田家が参加して飼育。400頭のお蚕さんで計366個の繭を生産し、富岡市に納めました。

世界遺産つながりという話題性も追い風となり、メディアにも大きく取り上げていただき、20周年を記念する思いがけない活動の一つとなりました。しかし、大切なのは継続すること。打ち上げ花火に終わらせることなく、生糸のように細くても長くつなげていく交流にしたいと考えています。

今年度はあと1回、晩秋蚕の飼育が9月よりスタートします。来年度以降につなげる意味からも、無理なく続けられる500頭前後のお蚕さんを継続して飼育したいと考えています。飼育箱や人工飼料も付いてきますので、初めての方でも容易にチャレンジできます。また、飼育に失敗しても責任は問われませんし富岡市への搬入・搬出も「守る会」が責任をもちます。来年度以降の飼育も含め、希望者は守る会和田へご連絡ください。

また、時を同じくスタートした田島家養蚕展示館。合掌家屋の有効活用、養蚕農家の復活、繭を活用した特産品開発等、守る会としても意義ある活動に期待を寄せています。富岡市との交流同様、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。【文責:和田】

市民の皆さん! 世界遺産を支えた養蚕を復活  
おかいご 育てて繭を作りませんか。 定員 1,000名  
申込期間 - 2015年5月1日～5月22日まで  
受渡期間 - 2015年7月2日又は3日(別途通知)  
申込・受渡場所 - 各近隣の公民館  
参加費 - 無料  
提供品の内容  
◎カイコ100頭 ◎飼育容器 ◎ボール紙(5枚) ◎人工飼料  
富岡シルクブランド協議会  
おかいご育てて繭を作ってみませんか! 申込書  
お名前(姓) 性別  
お名前(名) 性別  
住所  
〒( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
電話番号  
〒( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

【市民養蚕のチラシ】



【順調に育つ富岡市のお蚕さん】



【田島家養蚕展示館を守る会で視察】

【世界遺産登録20周年記念事業】

## 合掌文化伝承プログラム『われらがつくる茅ニュープロジェクト』

10月 30日(金) 9:30~16:00 茅刈り体験 (終了後懇親会)

11月 9日(月) 10:00~16:00 茅ニュー作り体験 (終了後懇親会)



20周年記念事業の一環として、上記のプログラムを開催します。村外からの参加者も募りますが、これらの伝統を継承するためには、住民が主体となって活動すべきプログラムであると考えています。失われつつある文化を継承しつつ記録映像に残し、終了後には参加者で飲み語り、20周年に感謝し祝うイベントに、ぜひともご参加ご協力ください。

荻町住民につきましては、9月の組覧会にて守る会委員より参加者の確認を行いますので、よろしくお願い申し上げます。



**合掌ゴブリンをつくろう!!**…8月7日、登録20周年記念特別ワークショップ「合掌ゴブリンをつくろう」を開催。村内小中学生を中心に約70名が参加。ゴブリンとは周りにかくれている妖精。小さな合掌ゴブリンから巨大な合掌ゴブリンまで、みんなで力を合わせて作りました。普段とは違った視点から合掌をながめ、子どもたちと共に未来の白川郷を大切にしていこうという想いを育むイベントとなりました。スタッフの皆さん、教育委員会・子ども会・公民館委員の皆さん、参加者の皆さん、素敵な体験と発見をありがとうございました。【文責：和田】



【旧松井家が特大合掌ゴブリンに】

### 守る会活動スローガン ～守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

## ＝ 7月の活動報告 ＝

- 7月 1日 群馬県富岡市より蚕搬入(守る会等4件で飼育)
- 7月 4日 西村幸夫町並み塾 in 福井(会長)
- 7月 10日 7月定例会・荻町集落内めぐり
- 7月 11日 ねそ7月号配付
- 7月 15日 第3回柿じいの白川遺産学セミナー
- 7月 17日 N小学校教諭聞き取り調査(会長)
- 7月 24日 群馬県富岡市へ繭送付
- 7月 27日 茅ニュープロジェクト等打ち合わせ会
- 7月 31日 オオハンゴンソウ除去作業(観光協会青年部)

### ＝ 区民の皆様へ ＝

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をお願いします。

※9月の定例会は、9日(水)公民館にて開催を予定しています。

### ☆ 8月の協議事項(現状変更申請に関わって) ☆

飛騨農協・・・店入ロタイル補修  
飛騨農協・・・ライスセンターシャッター交換  
白川村・・・旧荻町案内所西側舗装修繕

飛騨農協・・・Aコープ看板と入り口表示  
\*\*\*\*\* 壁の張り替え

※富岡市のお蚕さん、飼育希望者は8月26日(水)までに和田へ!!  
※木柵、残りあと7台です。購入希望者は守る会事務局岩本まで!!